

西多摩医師会報

第229号 平成4年1月



あけぼの 近藤友好

目

次

		頁
1. 年頭所感	会長 西村邦康 …	2
	副会長 松原貞一 …	3
	副会長 足立卓三 …	3
2. 学術		
	『学校検診の胸部X線で異常を指摘 され、当院を受診した一症例』 公立阿伎留病院 政 信太郎 …	4
	『第67回多摩医学会講演会メモ』 石井好明 …	8
3. 理事会報告	広報部 …	9
4. 『保険懇談会開催さる』	保険部 高木 直 …	12
5. 互助会給付金改定に就いて思うこと	山田正哉 …	12

		頁
6. 文芸随筆その他諸事百般		
	回想録 その(十二) 小泉新策 …	13
	雑記 大正13年の 西多摩郡医師会の先生方 山田正哉 …	14
	西多摩の眼科 (その1) 後藤 伸 …	17
7. 『西多摩医師会労働保険事務組合』	都知表賞を受ける 広報部 …	18
8. お知らせ・訃報 ……………		19
9. 医師会日誌 ……………		20
10. 表紙のことば	後藤友好 …	21
11. あとがき	渡辺良友 …	21

年頭所感

「年頭挨拶」

会長 西村 邦康

新年おめでとう御座います。年頭に当たり新年の御挨拶を申し上げます。先生方には御家族おそろいで新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。昨年を振り返ってみますとまさに世紀末といった次のような1) テレビゲームを思わせる湾岸戦争、油井爆破によるペルシャ湾の環境破壊、2) 普賢岳の爆発、3) 新都庁舎落成、都知事選挙、4) バルト三国独立、5) 銀行証券不祥事、バブル経済破綻、6) 海部内閣退陣、宮沢本格内閣誕生、7) PKO法案のたつき、等々様々の事態がおき、最後に8) ソ連邦の崩壊、と言う決定的な事態は、中学一年大東亜戦争勃発で今年真珠湾50周年に巡り合わせ資本主義と社会主義、イデオロギーの争を自明の事としていた昭和生れの人間には、おどろおどろしい政治の世界、理性より本能(民族)が優先する人間の営為の虚しさを思わせた年でした。我々を取り巻く医療環境を見ても医療問題は昭和20、30年代のように国の政策の重要課題ではなく、医療費の1-2%UPの駆け引きが医療のメインテーマとなっている状態で医療構造の再構築の緒が纏められないのが実態で、医療供給体制を見ても医療機関の役割分担=大病院指向は正は抄らず、保険制度を見ても感染症時代の遺物とも言える療養担当規則の縛り、保険審査業務の矛盾即ち保険者側からの異常ともいえる再審査請求そして原審、申し立てどおりがヒフティー、ヒフティーといった薬剤能書主義を思わせる事態、老人医療問題においても保健、医療、福祉の連携で実態のない言葉の羅列……がみられ我々が期待する医療構造再構築の解決にはほど遠く現状推移にまかせる虚しさを感じる昨今です。しかし医療問題、保健問題はこんなものかと考えているかも知れない若い世代の人に、口幅ったいが医療保険問題で我々が昭和30年代に燃えたパッションを今一度と思う気持ちで一杯です。

ところで西多摩医師会は昨年定款改正という重大な作業をなしとげ、定時総会で会員諸先生の承認を得ました。これは偏にこれからの西多摩の保健医療福祉を考えられた先生方の先見性と理解の賜と深く感謝申し上げます。しかしながら本年新定款に則って会務を執行する上では種々な事柄を諸先生と協議しご協力をいただければならないことが多々あります。この定款改正の目的は医師会総会、会報などでたびたび述べてきましたように、年々重要さを増してくる自治体の保健、福祉事業に対応するため各自治体の医師会活動を活発にして、その活動を通して西多摩医師会の活性化を計ることにあります。具体的には各地区毎にその組織構成を変えていただき地区の地域医療活動(公衆衛生活動、学校医活動等)を活発にしていくことが望まれます。これは一面西多摩医師会理事の役割のサポートにもなり、とかく問題になっていた理事業務の負担の軽減にもなります。このことを充分理解していただき新定款に則った役員選出が3月の定時総会でされる事を希望します。

最後に昨年年頭で述べた『この定款改正はソ連のペレストロイカに見るごとくペレストロイカの行く先が社会の混乱と言うソ連の二の舞だけは避けていきたい』を今年も繰り返し申し上げたいと思っております。

皆様の御健勝と御多幸をお祈り申し上げます。

「年のはじめに」

副会長 松原貞一

先生方には、今年も健やかな新春が迎えられたこととお喜び致します。

昨年は定款改正委員会のご努力により新定款が出来、秋には都の認可も得て発足の運びとなりました。山田正哉先生の会報連載記事を拝読致しましても、節目節目に遂げて来た当会の変革の歴史がうかがえますが、今回の定款大改正によっても、西多摩医師会の姿は大きく変わって行くこととなります。

老健法発足以来、老人健診を初めとする保健事業が、我々が行っている日常診療の中に大きく割り込んできました。更には健診の実施主体が市町村ということもあって、各市町村は近隣と異なり少しでも良いと思える体制

作りの模索を続け、結果として健診の体制や項目も市町村により区々になってしまい、その傾向は益々増大して行くばかりです。このように変貌する地域医療の現状から、新定款は各地区市町村医師会の主体制を尊重し、地区医師会の活性化を支援することに、西多摩医師会存在の意義を認めています。

新定款による会の運営執行に当っては、尚検討議論を要する所が多々ありますが、新定款の主旨を尊重し、新定款が会員の中に定着するよう努力することが、今年度医師会の大きな課題の一つになると思います。会長の補佐役として、その為にも微力を盡したいと思っています。

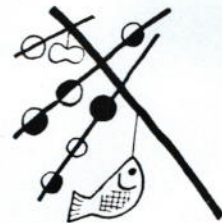
副会長 足立卓三

最近は何れも年令のせい、物事に感動することが少なくなってきた気がします。平成3年が4年になっても、昔のように「よし、今年はこのことをやろう」というような新鮮な気持ち湧いてきません。

さて、本年は西多摩医師会の役員改選も新しい定款の下で行われることになり、いろいろな意味で各地域医師会の活動が必要になってきます。会員の先生方の御理解と御協力が得られなければどうにもなりません。

今迄にも申し上げてきたように現代の医師会は上意下達では成り立ちません。一応の主役が西多摩医師会から各地域医師会に代ったとしても結局は同じことです。

折角、定款改正委員会の先生方が苦勞して作って下さった新しい定款です。これに暖かい血を流しこむのは執行部の役目でもありますが、実際には会員一人一人がその気になって本当に考え、行動して下さることです。多少の混乱は避けられないでしょうが、どうかよろしく願い申し上げます。



学 術

学校検診の胸部X線で異常を指摘され、

当院を受診した一症例

阿伎留病院小児科 政 眞 太 郎

症例：12才 男児

主訴：胸部X線写真上の異常陰影

家族歴；既往歴：特記すべきことなし

現病歴：平成3年新学期の学校検診にて、胸部X線写真上の異常陰影を指摘され、指導区分が要精検とのことで、当院を受診しました。生来健康で、今まで特に胸部X線撮影を受けたことはないそうです。現在、学校のサッカー部で活躍中で、試合を前に練習に励んでいるとのことで、咳や他の呼吸症状、胸痛、背部痛、易疲労感等といった自覚症状の訴えは全くありません。

現症：体格中等、栄養状態、顔色良好。眼瞼、眼球結膜に貧血、黄疸を認めません。頸部、鎖骨周囲、腋窩のリンパ節の腫脹は、何れもありません。胸郭に変形なく、胸部の

打聴診上異常を認めません。腹部で肝、脾は触知しません。以上特に理学的異常所見は認められませんでした。

臨床検査成績：血液一般検査ではWBC 4,150/mm、RBC 526万/mm、Hb 14.4 g/dl、plt. 33万/mmと異常を認めず、血沈も1時間値3mm、2時間値5mmと正常でした。CRPは0.3mg/dlと陰性で、血清蛋白、蛋白分画も正常でした。血液生化学検査でも、GOT 22、GPT 9、LDH 544、Al-p 30.6等と12才の値として特に異常はありません。又、当時、学童にマイコプラズマ肺炎が流行していましたので、念の為寒冷凝集反応、マイコプラズマ抗体価を測定しましたが、どちらも陰性でした。

胸部単純X線写真(図1)：正面像で右上

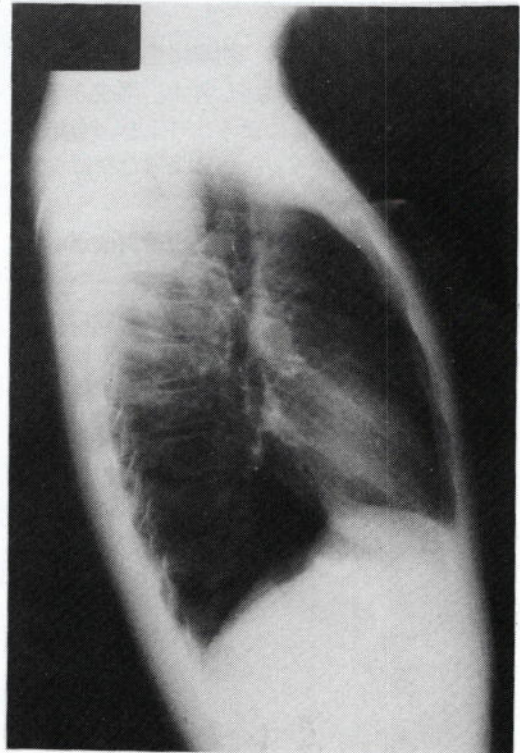
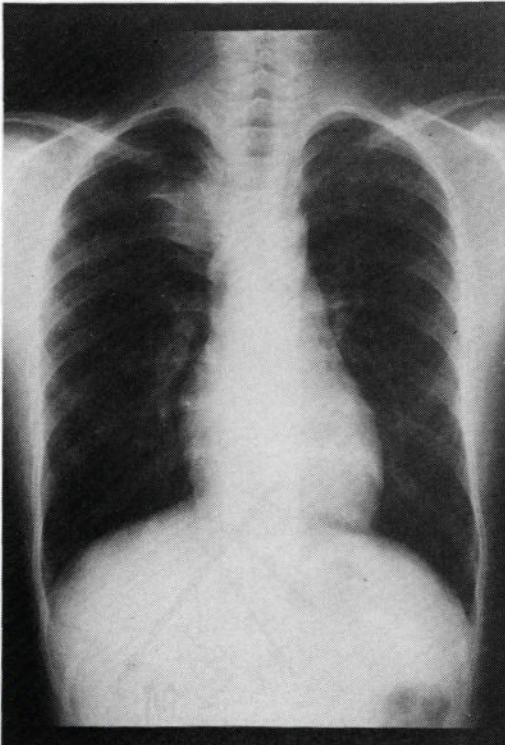
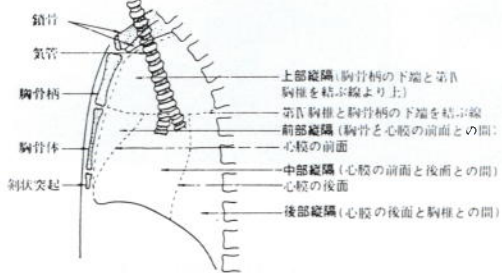


図1 胸部単純X線像

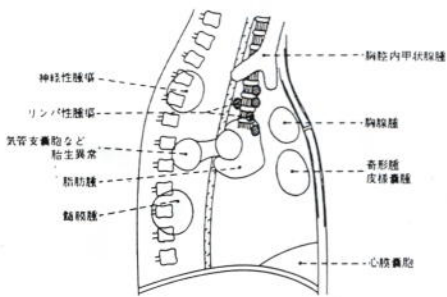
肺野の鎖骨下方に周囲との境界がやや不明瞭で、内部陰影濃度は不均一な、大きさ約5×3cmの陰影が認められます。この写真だけからだと、学校医の先生が御指摘されたように、肺内の陰影か、縦隔腫瘍が考えられると思います。

肺の陰影だとしたら、肺炎か誤嚥による気管支異物等が考えられますが、肺炎としては、前述のように全く症状がありません。又、誤嚥のエピソードもありません。次に側面像では、この陰影が後部にあるのがわかります。

そこでまず第一に、上部縦隔の後部に好発する縦隔腫瘍で、小児では比較的多い、神経性腫瘍か気管支嚢胞を疑いました。(図2、表1)



縦隔の区域分類



主な縦隔腫瘍の発生部位 (Crofton による)

図2

縦隔腫瘍とその好発部位

前部	上部縦隔	前部縦隔	中部縦隔	後部縦隔
胸腺腫	奇形腫	神経性腫瘍	リンパ性腫瘍	神経性腫瘍
甲状腺腫	皮様嚢腫	奇形腫	気管支嚢胞	神経性腫瘍
リンパ腫	リンパ腫	奇形腫	心嚢腫	交感神経分枝神経腫
奇形腫	心嚢腫	奇形腫	形質細胞性血管腫	
皮様嚢腫	胸腺腫	奇形腫		胸腺肉腫
脂肪腫	血管腫	奇形腫		リンパ腫
胎生異常	リンパ腫	奇形腫		甲状腺腫
脂肪腫	軟骨腫	奇形腫		奇形腫
後部	奇形腫	奇形腫		奇形腫
神経性腫瘍	奇形腫	奇形腫		奇形腫
気管支嚢胞	奇形腫	奇形腫		奇形腫
	Morgagni 嚢腫	奇形腫		奇形腫
		奇形腫		奇形腫

表1

胸部断層写真：(図3 正面像、側面像) 断層写真より右第4肋骨と第5肋骨の膨隆が認められ、この時点で縦隔腫瘍ではなく、肋骨の腫瘍を疑いました。そこで整形外科の先生に相談して以下の検査を進めていきました。

胸部単純CT像：(図4)

第4肋骨骨頭の膨隆及びその周囲の軟部影が認められ、又第5肋骨骨頭部にも骨過形成がみられます。他の縦隔で肺には異常は認められません。このように肋骨骨端部が膨隆し、骨外に軟部腫瘤を形成していることから、悪性の肋骨腫瘍を疑いました。

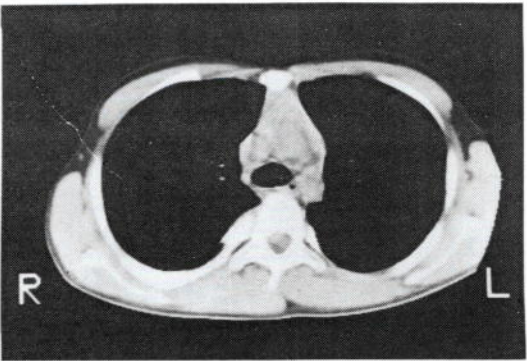
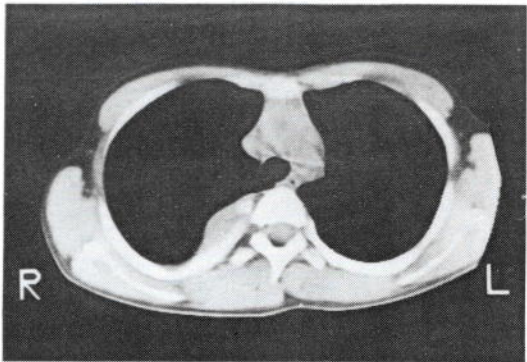
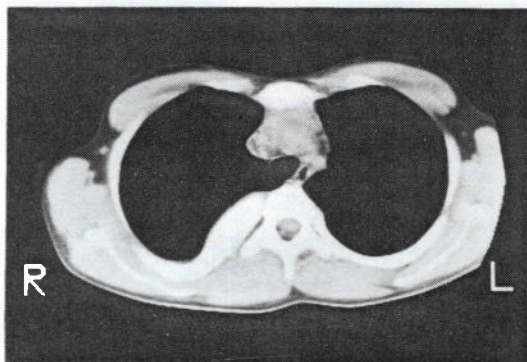


図4

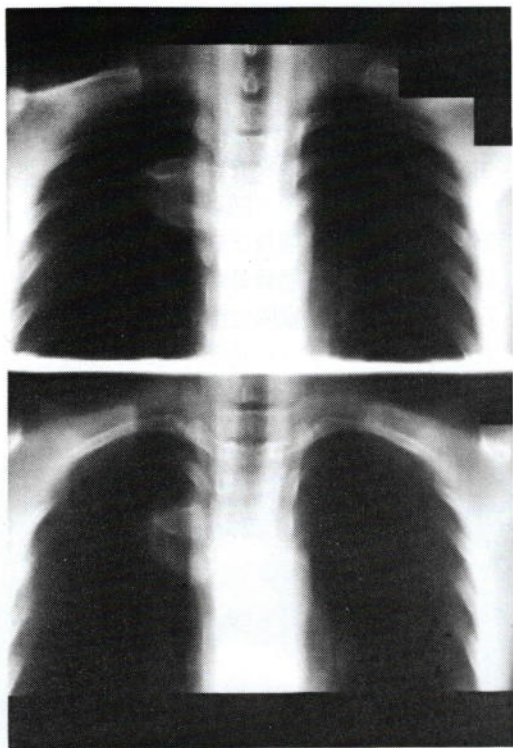


図3

骨シンチ：(図5)

i) ^{99m}Tc -HMDPによる骨シンチでは、特に右第4肋骨、その周辺に集積増強は認められず、移転性骨腫瘍は否定的です。

ii) Ga シンチでも特に同部位の集積増強は認められず、完全に悪性の腫瘍は否定できませんが、良性腫瘍の可能性もできました。

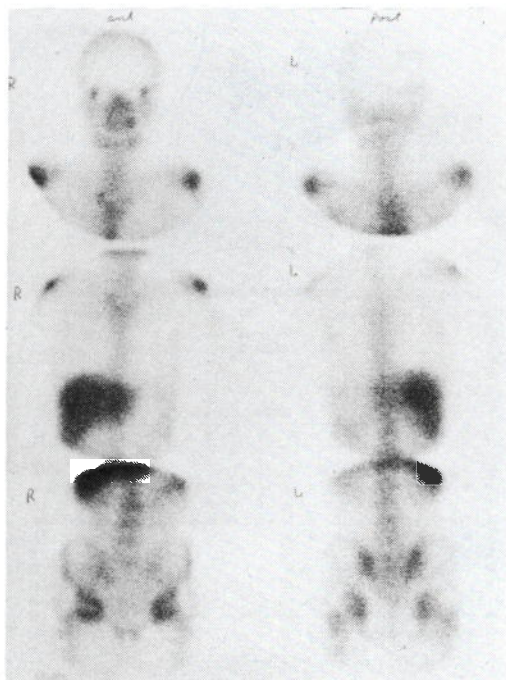
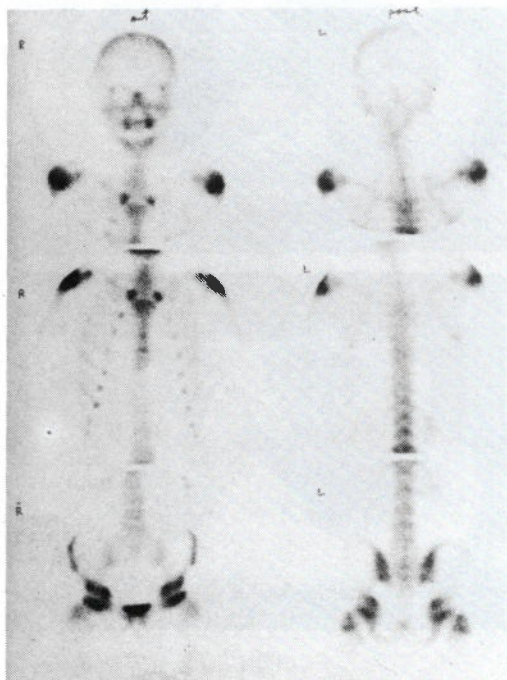


図5 ^{99m}Tc -HMDP シンチ

Gaシンチ

以上の様に画像検査では確定診断が出来ませんので、大学病院の整形外科へ紹介しました。10月上旬に背部からの open biopsyが行なわれ、以下の返事を得ました。

『肋骨基部を開窓し、内容を病理へ提出。内部はやや粗になった正常と思われる骨髄組織で明確な tumor mass は存在しませんでした。』

病理は fragment of bone との返事で、経過観察と決定し、退院となりました。』

〈病理組織診断〉

Fragment of bone.

〈病理学的所見〉

提出された検体は、右第4肋骨腫瘍生検にて得られたものです。

組織学的には、

No. 1の肋横突起は、変性し一部壊死に陥った骨組織と骨髄より構成されています。

No. 2の肋骨と横突起間組織は、fibro-fatty tissueより構成されています。

No. 3, No. 4の肋骨より内容を抽出した tumor 部分は、骨組織と骨髄より構成され、一部に osteoblast の増生をみる骨組織が存在しています。

いずれの部分にも腫瘍性増殖はみられません。

no evidence of malignancy です。

表2 病理組織所見

なお、CT像でみられた胸腔内へ進展した軟部陰影の部分の組織採取は、開胸を必要とするので、無症状で検査を受ける少年に、これ以上の侵襲を与えない為、行なわなかったそうです。

学校検診の胸部X線写真で異常陰影を指摘され当科を受診し、無症状であることと、胸部単純写真所見より、最初縦隔腫瘍が考えられました。しかし、胸部断層写真、CT検査、更に骨シンチと検査を進めていくうちに、肋骨の悪性腫瘍が、次に良性腫瘍が疑われました。最後に open biopsyの結果、肋骨骨端の膨隆部は正常の骨組織で腫瘍性増殖はみられないとのことで結果的には肋骨の奇形という診断に落ち着きました。

文献を調べますと、1991年の胸部外科雑誌に15才の女性でこの症例と同様に学校の検診で胸部の異常陰影を指摘され、胸部CT、MRI像より後縦隔腫瘍が疑われ、開胸手術を行い、その結果右第6肋骨に発生した chondroblastoma であったとの報告がありま

す。

本症例も胸腔内へ進展している軟部陰影の経過を観察していく必要があると思われます。



第67回多摩医学会講演会メモ

石井好明

11月30日、北多摩医師会館で行なわれた本講演会の内容は、後日、都医師会雑誌に掲載されますので、発表施設名を省略し、小生の理解した範囲で、簡単に報告致します。

- 1) 体外式衝撃波結石破碎療法 (ESWL) はかなり有効であり、こわれた大きな破片が胆管に落ちた場合は、2、3日後に再び ESWL を行なっている。外来でも可能と思われるが、第1回目は入院で行なっている。(胆石 163例の経験)
- 2) 上部消化管異物の80~90%は自然排出されるが、7日以上留まっている物は、摘出した方がよい。歯ブラシの誤嚥例は、世界の文献で20例あり、その中6例は日本の報告である。(症例報告)
- 3) CA19-9が上昇した胃癌を根治切除したが、CA19-9は手術直后には正常化せず、除々に低下して3ヶ月後に正常化した。(症例報告)
- 4) 大病院指向の時代といわれる最近でも、病院で手術された胃癌・大腸癌の約半数は紹介患者であり、30年前と大差ない。乳癌は、直接来院患者の増加傾向を示し、最近の紹介患者は3割に減少している。術後生存率に有意差はなかった。(1,744例の調査)
- 5) 3,805名のドック検診で、直腸指診・便潜血反応・CEA測定を行なったところ、直腸癌を2例発見した。(1例はCEAで、1例は直腸指診で。)
- 6) 2,414例の子宮内膜細胞診を行なったが、体癌は10例で、全例不正性器出血を訴えていた。偽陽性は1%あった。
- 7) 肥満度30以上の小学生の60%・中学生の80%は、何らかの検査異常を持っていた。(6年間の集計)
- 8) 1,399名の小学4年生と中学1年生を調査したが、その半数が将来、成人病になる可能性があるかと判定された。
- 9) 2,829例の基本健康審査受診者の心電

図の3%に、正常の心臓では出現しないという陰性U波が見られた。

- 10) 腹腔鏡下胆嚢摘出術を主として腹壁吊り上げ法で20例に行なった。手術時間は2時間17分~4時間(平均3時間13分)で、術後在院日数は2~9日(平均4.7日)であった。(この施設の年間胆摘術は約50例とのこと。)
- 11) 心房細動 100例の外来治療の経験から、抗不整脈剤の選択時、ジギタリス・利尿剤・Ca 結抗剤との併用に注意が必要である。
- 12) 高令者(69才)心房中隔欠損症の1例が報告され、フロアとの間で、手術適応についての討論があった。
- 13) 局麻による下肢静脈瘤外来手術の経験が30例に達したが、再発はない。大・小伏在静脈分岐部では、結紮切断のみで、stripping は行なっていない。
- 14) 四肢急性動脈閉塞症13例中8例に血行再建術を行なった経験から、早期に血管造影を行なうことが大切と思われた。
- 15) 外傷を除く頭蓋内出血 997例中、初診時単純CTで原因が鑑別できなかった例が22例あったが、最後まで原因不明だったのは8例(高令者が多い)であった。
- 16) 木造家屋に住む家族4人全員に、真苔による夏型過敏性肺臓炎が発生した。しめった床下を改造したら、起こらなくなった。
- 17) マイコプラズマ肺炎の鑑別にはCTが有用である。(25例の経験から)
- 18) 阻血性拘縮による軽度の尖足は、軟部組織の解離により、高度の場合は骨性に矯正して、踵がつけるようにした。(3例の経験)
- 19) 昭和40年以来、落雷事故が60件あり(関東地区では15件)、死者は50名であった。ゴルフ中の雷雨などで雨やどりする時は、一番高い木の下は避けた方がよい。(雷は、一番高いものに落ちる。)

理事会報告

平成3年12月17日 西多摩医師会館

議事録署名人 { 稲垣理事
唐橋理事

議題

1. 報告事項

- (1) 三多摩地区医師会庶務担当理事連絡会報告 (林 理事)
 - 1 各地区の災害医療対策の状況報告。
 - 2 定款改正について、当会の改正経過について説明
- (2) 大腸がん検診について (大堀理事)
医療協小委員会を開催、市町村側より、来年度は便潜血検査を2回法で行いたいとの要望有り、了承した。
- (3) 「保険問題懇談会」報告 (高木理事)
詳細別掲。
「社会保険指導者講習会」報告 (高木理事)
- (4) 福祉部委員会報告 (進藤理事)
平成4年新年賀詞交換会について
- (5) 西多摩学校保健連絡協議会報告 (唐橋理事)
- (6) 3才児聴覚検診講習会報告 (大堀理事)

2. 報告承認事項

- (1) 入会会員について
—— 承認 ——
- (2) 民事調停委員の推薦について (林 理事)
青梅簡易裁判所調停委員
土田 守一氏 (再)
—— 承認 ——
- (3) 結核、感染症サーベイランス事業に係る定点医療機関の推薦について (林 理事)
内科・小児科定点2ヶ所増設 (福生・五日市)

福 生 林 実先生
五日市 鈴木 修先生

—— 承認 ——

参考 現在3医療機関

青梅 笹本医院

羽村 滝浦医院

秋川 横田小児科医院

- (4) 平成4年度学校医(青梅市)推薦について (林 理事)

別掲資料①参照

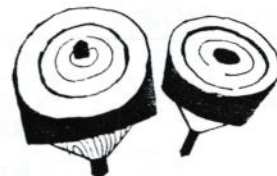
—— 承認 ——

- (5) 学校医大会(於奈良、11月9日)に道又理事の代りに木野村先生出席の旅費・日当支払の件 (林 理事)

—— 承認 ——

3. 協議事項

- (1) 平成4年新年賀詞交歓会について (進藤理事)
細部につき協議、承認される。
- (2) 平成4年度医師会費について
別掲資料②参照 (大嶽理事)
—— 承認 ——
- (3) 地区長選出の手順について (林 理事)
次回理事会に各地区医師会長をお招きして協議する。
- (4) 保険者よりの再審査請求減点例につき、当会医療機関について調査・検討することについて (西村会長)
保険部で検討する。



別掲資料①

平成4年度 中・小学校医の推薦について

青 梅 市 立			
学 校 名	平成4年度学校医氏名	現 在 学 校 医 氏 名	備 考
第1小学校	平岡 克彦 笹本 隆夫	平岡 克彦 大塚 宣夫	
第2小学校	小沢 町江 荒巻 武彦	小沢 町江 道佛 晶子	
第3小学校	百瀬真一郎	百瀬 政雄	
第4小学校	土田 守一 鈴木 穆	土田 守一 丸茂三千穂	
第5小学校	藤野芙美子	藤野芙美子	
第6小学校	藤野芙美子	大堀 洋一	
第7小学校	堀田 洋夫	堀田 洋夫	
第8小学校	遠山 泰策	遠山 泰策	
第9小学校			
第10小学校			
河辺小学校	福原 清 成田 章	福原 清 笹本 隆夫	
新町小学校	野本 正嗣 大堀 洋一	野本 正嗣 濱松 輝美	
霞台小学校	市原 靖	市原 靖	
友田小学校	小沢 昌彦	小沢 昌彦	
今井小学校	唐橋 善雄	唐橋 善雄	
若草小学校	足立 卓三	足立 卓三	
藤橋小学校	百瀬真一郎	百瀬真一郎	
吹上小学校	小林 杏一	小林 杏一	
第1中学校	皆川 俊一	井上勇之助	
第2中学校	石田 信彦 井上勇之助	石田 信彦 荒巻 武彦	
第3中学校	鈴木 良亮	鈴木 良亮	
西 中 学 校	江本 虎雄	江本 虎雄	
第6中学校	堀田 洋夫	江本 虎雄	
第7中学校	中林 敬一	中林 敬一	
霞台中学校	吉野 住雄	吉野 住雄	
吹上中学校	土田 守一	佐々木 章	
新町中学校	鈴木 穆	鈴木 穆	
泉 中 学 校	吉野 住雄	五十嵐敬晃	

耳鼻科・眼科医

学 校 名	平成4年度学校医氏名	現 在 学 校 医 氏 名	備 考
第1小学校	(眼 科) 後藤 伸 (耳鼻科) 竹内 靖信	後藤 伸 竹内 靖信	
第4小学校	(耳鼻科) 三枝 進	三枝 進	

別掲資料②

平成4年度西多摩医師会費について

公立病院	平成3年度と同じ(現行どおり)	青梅市立総合病院	¥ 700,000
		福生病院	¥ 500,000
		阿伎留病院	¥ 400,000
		奥多摩病院	¥ 230,000
公立・直診	同上(現行どおり)	6ヶ所	¥ 510,000
私立病院	同上(現行どおり)	21ヶ所	¥5,890,000
合計			¥8,230,000

診療所・医院

現 行	
300万点以上	250,000×3 = 750,000
200万点以上～300万点未満	240,000×1 = 240,000
100万点以上～200万点未満	230,000×22 = 5,060,000
60万点以上～100万点未満	210,000×32 = 6,720,000
45万点以上～60万点未満	180,000×10 = 1,800,000
30万点以上～45万点未満	150,000×27 = 4,050,000
20万点以上～30万点未満	110,000×18 = 1,980,000
10万点以上～20万点未満	90,000×13 = 1,170,000
10万点未満	50,000×3 = 150,000
合計 21,920,000	
(注) 産婦人科は1ランク上を適用	
老免会員(77才以上) 免除	
病气会員 免除	

現行と改正後との比較	
25万円→20万円	3人
24万円→20万円	1人
23万円→20万円	22人
21万円→20万円	31人
21万円→18万円	1人
18万円→18万円	8人
18万円→16万円	2人
15万円→16万円	9人
15万円→14万円	18人
11万円→12万円	18人
9万円→12万円	5人
9万円→10万円	8人
5万円→10万円	3人
老免0→5万円	6人

改 正	
60万点以上	200,000×57 = 11,400,000
50万点以上～60万点未満	180,000×9 = 1,620,000
40万点以上～50万点未満	160,000×11 = 1,760,000
30万点以上～40万点未満	140,000×19 = 2,660,000
20万点以上～30万点未満	120,000×17 = 2,040,000
20万点未満	100,000×16 = 1,600,000
<老免廃止>	
(77才)以上	50,000×6 = 300,000
合計 21,380,000	
(注) 産婦人科は1ランク上を適用	
病气会員 免除	

<比較> 改正前 ¥30,150,000
 改正後 ¥29,610,000
 差 異 -¥ 540,000

保険懇談会開催さる

保険部 高木 直

去る11月21日福生市「幸楽園」にて、上記懇談会が開催された。

今回は、都医保険担当理事の、牧、青木両氏、国保連合会より外山枝官、都医事務局の松井氏、当会より9名の保険指導整備委員が出席して、最近の保険診療上の諸問題につき話合った。

話題の中心は、やはり診療報酬請求に関する件であり、種々活発な意見が出された。

まず、支払基金審査委員の立場からは、審査会の考え方として、各医師会の指導整備を担当する会員には、指導整備の意義を充分理解した上で、単に病名漏れや、事務手続き上の過誤に止まらず、更に診療内容における懸案にも、所定の付箋を活用して立ち入ってもらいたい旨、また、こうして医療機関に注意を喚起することが、より円滑な支払業務に通ずる旨意見が出された。

また、医師会員であるにも拘らず、レセプト提出時、会を通さず直接に基金に持ち込む例が各会共に散見されるが、この場合審査会では直接受け付けとして扱い、より厳重な審査の対象になるだけである、つまり医師会の整備委員会経由のレセプトは、間接受け付けとなり、審査会としては一度点検済として理解されるわけである、従って医師会員として

の資格を充分活用すべきである旨、話があった。さらに、保険診療のあり方について、常に会員に整備会として注意を喚起する必要があることを明らかにした。

円滑な保険診療と同時に円満な支払い業務を遂行するために、会員も、指導整備委員もこのシステムを充分活用すべきであると強調した。

また、会員より、診療報酬点数の決め方につき、日本医師会がもっと積極的に意見を出し、影響力を持つべきだとの意見が出された。例えば、最近産業廃棄物の問題がクローズアップされており、とくに使用頻度の高いデスクポータブル製品の廃棄に要する費用がかさむにも拘わらず、依然として点数に反映されていない等の話がなされた。

次いで、来年度より導入される建値制をふまえて薬価差益の問題が出された。国は薬価差益を益々減少させていく方針であるが、現在の自由経済市場下では、完全撤廃は不可能であろうとの意見もあった。

その他、診療報酬点数表の運用方法、特に掲載外の項目の準用基準についての審査会の考え方、また、保険適用外、療養費払い分の占める割合の拡大は是か非かにつき活発な意見交換が行われた。

互助会給付金改定に就いて思うこと

山田正哉

会報第227号理事会報告その2の中で互助会給付金額を在籍年数に応じて改定したき旨が掲載されている。

そもそも西多摩医師会互助会発生の由来に就いて、ご存知の方は余り居られないと思うが、何れ雑記の中で掲載して行く積りであるが、総会まで各会員のご考慮を頂きたき為、

ここに互助会に就いての私の考え方を申し述べておきたい。

互助会はお互いに助け合うことを主旨とするもので、共済組合的な考えを持たないのが一般的な常識だと思う。それ故に、互助会は在籍年数に関係なく、会員誰れしも平等の権利を有することが原則で、時代の趨勢に応じ

佐よりの連絡で慶應出の島田信勝君を紹介しようとのことで面接した二等兵兵の氏を合意して貰い軍医予備員見習士官として就任勤務して貰えた。島田氏は後に慶應大学の教授となられた方であるが、短命にて既に他界されて居る。五日市の診療所は場所決定がおくれて後廻しに予定地は大略定まってからもたついで居た。と云うのは上海上陸戦に参戦して発狂し、帰郷後鎮静して居た軍医中佐の居たことも一縷の望みでもあった様子であった。廿年五月八日富士森公園で三千人の竹槍部隊の結成が民間に出来上り、隊長に衆議員の坂本一角氏副に立川の伊澤氏、會計に持田次郎、指揮を実戦経験者ということで私が選ばれた。富士森の八幡神社で結成式、大署名簿（巻物）を作り各地区別班長等の役員をきめ本土決戦に対する準備を急いだのである。在郷軍人も予備役は殆んど出征し、後備役や免除者のみの決成であったので意気は盛んでも初老者のみの集合隊であった。所が、八王子には学生会が出来上って居た。360名、この学生会が非常に活躍してくれた。会長は諸住豊君副は現右田病院長、以下それと云うと5、60人集合して活躍してもらえた。兩人とも何れも健在であるはずこの文章を見たら喜んでくれると思う。八王子の空襲は東京が三月五日と潰滅させられた経験から必至のものと覚悟して居たので周到な退避計画と訓練を反復して居たので、あの八王子大空襲が廿年七月卅

一日より八月一日に数分過ぎた時大空軍機の投爆にも周到な避難が出来て居たので被害は人身に及ぼしたものは極めて少かった。當時を詳述すると卅一日の午後四時頃、例の松平参謀中佐が汗を拭きふき帰って来た。今日は八十機ほど飛び立って居る、今度は立川、八王子が狙われそうだ、急いで疎開させてくれとの話であった。そこで、学生隊に活動を開始してもらった。平常荷車等の移動準備は出来て居たので、学生会が活動を起して連絡し合ひ、先づ疎開の範囲を定めて指令した。東は日野台、南は片倉城趾、北は鶴鳥山の線まで、又西は四谷の諏訪神社以西へ、荷車で人も荷物も大移動を起したのである。勿論地下防空壕は完全と云ってよい程に全町完備してこれは利用されて居た。七月卅一日の夜十時頃から立川方面に來襲した数十機が無差別爆撃を開始した。立川方面は広範囲にやられたな、だが八王子方面は大丈夫安泰だと思って私は避難した五日市で見て居た。卅一日眞夜中十二時が廻った、やれやれと思って一と息ついたとき急に八王子の方面が明るくなって来た。ラジオ報送は敵機が反転し初めたというが早いか八王子方面が眞赤になって燃え上るようになって遂に八王子の大部が焼き打ちされた。疎開から気の早く帰宅したものは被害を受けたが、その被害は爆死者は少かったようである。

雑記

大正13年の西多摩郡医師会の先生方

山田正哉

現在西多摩から都内に出るのには、青梅線、中央線に特別快速があって大変便利であるが、大正13年には青梅線が漸く前年大正12年に電化され、五日市線など未だなく、立川、中神、拝島、福生、羽村、小作、青梅、宮の平、日向和田、楽々園（現在の石神前）、二俣尾間を小さな電車が一輛で走っていた時代で、小河内、氷川方面から都内に出るのには1泊2日

の旅で、途中青梅などに宿泊せねばならなかった。

また中央線は現在の国分寺駅までしか電化されておらず東京駅から立川に来るのには東京駅、神田、万世橋、お茶の水、水道橋を経て、昔の飯田橋貨物操作場の処にあった中央線発着の飯田橋駅（名古屋行列車のあった頃）か、或は国分寺駅で列車の乗換えねばな

らず、国立駅もなく、立川駅には地下道さえない時代であった。

その大正13年に西多摩郡医師会に入会されておられた先生方は次の如くで、少しばかり私がお存知申し上げてた先生方の面影を記載してみた。

小河内村河内54	葛西謙三
氷川村氷川117	川辺豊作 (川辺隆道氏祖父)
三田村沢井上分207	福田隆一 (故福田 実氏実兄) 福田 実 (故福田 修氏父、 田中浩哉氏義父)

福田実先生は戦後の社団法人西多摩医師会第2代会長(通算9代)を務められ、鼻下にヒゲを蓄えられチョッキには金鎖付金時計をされた貴公氏風の御岳のお殿様の先生であられたが、昭和26年夜間往診の途中沢井駅附近で不慮の死を遂げられた。

吉野村柚木64	中村重四郎
吉野村下1220	鈴木隆之助 (故鈴木達三氏父)
成木村上成木下分1495	鴨下芳文
霞村藤橋10	百瀬眞澄 (百瀬眞一郎氏祖父)

青梅町青梅67 川内英雄
昭和7年氷川に移転されたが、医師会では勤厳実直な先生で、役員会終了後氷川に帰へるまで青梅駅前の食道で日本酒を飲むのが楽しみであったと聞いている。

青梅町青梅300	大河原由蔵 (大河原氏父)
----------	------------------

西多摩医師会第5代会長職をされ、チョット近寄り難い古武士風の立派な先生であられた。

青梅町青梅339	宇野甚三
----------	------

青梅町西分12	大越 誠 農林学校の近くで眼科を開業していた。
---------	----------------------------

青梅市青梅321	小林常次郎
----------	-------

青梅市勝沼200	三枝不二太郎 (三枝 進氏祖父)
----------	---------------------

坂本順三氏と共に西多摩医師会創立の指導者。

青梅町青梅58	笹本義広 (笹本隆夫氏祖父)
---------	-------------------

晩年は好々爺的な先生であった。

青梅町青梅63	宮岡 孝
---------	------

医師会創立当時の宮岡兵吾氏ご子息で、当時の医師会事務所があった。

青梅町青梅369	鈴木達三
----------	------

吉野村の鈴木隆之助先生の御子息で、青梅で眼科を開業なされ、金縁眼鏡をかけ白足袋、袴で診療されていた。生前よく故石森賢一先生(西多摩医師会第11代会長)に軍隊では俺の方が上官だと云われていたが、昭和18年秋第2次世界大戦に召集され、フィリピンのルソン島で戦死された。若し今日ご存命であったら医師会長職をなされた方で、医師会はもっと変化していたかも知れないと思う。戦後後藤先生がこの鈴木眼科跡で一時期開業されたことがある。先生の御遺族は現在青梅市梅郷で鈴木歯科を開業されている。

青梅町青梅141	平岡誠二郎 (平岡克彦氏父)
----------	-------------------

東大御出身の貴公氏風の先生で、非常の刀剣に就いて御造詣の深い方であった。先生御逝去後は新潟県佐渡からお身内の天田謹四郎先生が診療されておられ、その後平岡克彦氏が継承された。

箱根ヶ崎107	石川三津造 (元慈恵医大学長 石川光照氏祖父)
---------	-------------------------------

西多摩村羽190

横田静蔵
(横田卓史氏、
稲垣壮太郎氏祖父)

西多摩医師会第6代会長で、おつむはツルツルと光り輝く禿げ頭で、コメカミからは白いヒゲがあり古武士的な風格があり、酒宴の会ではよく蛸踊りが上手であったと聞く、先生が昭和21年4月御逝去後はしばらく羽村駅前の横田医院は閉鎖されていたが、お孫様の横田卓史氏がおぢい様の跡地で開業されてさぞかしお喜びのことと思う。

福生村1678

横田寿一郎
(故横田寿照氏父)

戦後の社団法人西多摩医師会初代会長横田寿照氏の父で、第4代西多摩医師会会長をし、山梨武田藩の流れを汲み、父横田甫助氏は徳川千人隊に参加された由緒あるご家庭で、長いこと福生第1小学校々医であられ、西多摩学校保健に貢献された方である。

福生村636

山田正礼(小生父)

東秋留村雨間679

岩間道生

増戸村伊奈1508

坂本富雄

昭和初期より西多摩医師会役員をされ医政に盡力し、戦時下の医師会活動に手腕を発揮し、また戦後の医師会では副会長職となられ今日の医師会の基盤を築かれた方で、後年は少々小肥りでおみ足も悪く杖を使っていたお姿を思い出します。

五日市町1055

横田房吉
野口浅次郎
(西谷清美氏祖父)

五日市町71

五日市町114

深沢誠一
栗原庄三郎
(栗原琢磨氏祖父)

小宮村乙津1978

戸倉村201

今川定次郎
(故今川 武氏父)

大久野村2444

浜中従道
高橋栄順(元日本
医科大学理事長
高橋末雄氏父)

松原村人里199

箱根ヶ崎村188

江藤 貢

小河内村に当初開業された後に移転して開業され、昭和初期に福生市熊川に分院を設置したが、刀剣にも非常に詳しく全ての面で豪傑で、昭和32年3月に御逝去された。現東海大学附属菅生高校理事江藤喬氏の父であり、俳優の江藤潤氏の祖父である。

西多摩村羽1230

坂本順三
(坂本保巳氏祖父)

本会創立の功労者で、西多摩医師会初代会長をなされ、その指導力は絶大で今日本会有るのも先生の如き偉大な指導者のおかげである。

東秋留村二宮2244

藤野長雲

西秋留村牛沼93

太田中書

平井村1264

菊池卯太郎

古里村小丹波33

香田雅夫

福生村810

小松梯次郎

以上38名が西多摩郡地区に開業され、発足時以来の先生方は一部御逝去されるが、そのご子息が継承して開業医数には殆んど変化がない。

その時の医師会役員は

会 長 坂本 順三

副会長 横田寿一郎

理 事 大河原由蔵

百瀬 眞澄

栗原庄三郎

笹本 義広

坂本 富雄

宮岡 孝

東京府医師会代議員 坂本 順三

中村重四郎

医師会事務所 青梅町青梅63

宮岡 孝方

次回は昭和13年当時の先生方を記録してやることとする。

西多摩の眼科（その一）

青梅市 後藤 伸

昭和初年、5才の男の子が八王子の某眼科へ行き、そこで東京帝国大学初代教授河本重次郎先生により斜視の出張手術を受けて居る。

「その頃国立大学教授の学外診療は禁じられてなかったのですね」「そのようです、他にも例がありますから」三多摩眼科医会終了後ビールが出て隣席T教授との会話である。

“（白内障の手術により）一眼開眼ノ実ヲ挙グレバ一郷拳ッテ来タリ、斜視手術ノ成功ハ一郡患者ノ蝟集ヲ見ル” “我輩ハ手術ノ達人タルヲ目指ス、術モ名人ノ域ニ達スレバ楽シミトナルベキナリ、諸子努力サレヨ”

疾病の本質究明が重んじられるあまり、手術手技は職人芸として軽んじられて居たこの頃河本教授には斯様な言葉が伝えられて居る。我が国第一級の学者であると同時に優れた実技者であったと思われる。

当時5才の男児であった旧家御出身のこの方は実業家として現在尚七面八臂の御活躍である。斜視弱視の為片眼の視力は悪いが眼位眼球運動共に正常で、眼科の診察時以外眼の異常に気付く人は先ず無いであろう。60年を経て素晴らしい出来栄である。

「その様な話を沢山貯めて 三多摩眼科の歴史を書いて置きませんか。段々忘れられて行くのは惜しいことです、是非おやりなさい」温厚でお酒の強いT教授は眼鏡の底に笑みを湛えて仰る。

とてとても。西多摩医師会60年、80年史をつくる時、年月日ひとつを確かめる為数々の苦勞を重ねた委員の話聞いて居る。歴史の古い府中八王子あたりの数代続いた眼科医の方でなければ手の染められることでは無い。せめて西多摩のそれも昭和31年私が青梅に来てから35年間聞きした眼科のことを誌して置きたい。

大正の終り頃西多摩には既に二軒の眼科医院があった由である。ひとつは青梅市勝沼の大越眼科（青梅市黒沢御出身）その建物は田中外科、福島婦人科と受け継がれ現在駐車場となって居る。他は上町鈴木眼科（梅郷御出身）建物外観は略其のまゝ現在東京機工土木（株）の事務所となって居る。第二次大戦中大越先生も医大在学中の御息も亡くなられ、鈴木先生も応召南方で戦病死されたと聞く。

羽村の加藤シゲ先生の眼科開業が昭和7年、五日市野口自然先生の応天堂医院（婦人科一般科）を野口幸子先生が引き継がれて眼科医院とされたのが昭和16年。戦中戦後の混乱の時期西多摩の眼科はこの二人の女医先生によって支えられた。地域の後輩眼科医として敬意と感謝を捧げたい。

終戦直後メチルアルコールによる失明が全国的規模で発生、立川病院眼科に頸動脈注射療法を受ける患者が殺到した。当時青梅に眼科医は居ない。やがてこの立川病院より北村宗信先生が青梅市キネマ通りに開業、大変な盛業であった。この頃福生病院も開院して居る。

昭和25年頃某新聞都下版に青梅大門地区の学童トラコーマ保有率90%と報じられたのがきっかけになって青梅眼科が開設され8年間続いた。私は三代目の医師として昭和31年九大眼科教室より赴任二年間勤めたが、水道のない大門地区の春先の土埃はひどく目がしらにめやにを付けた子供は多かった。トラコーマ末期の肉様角膜パンプスで失明して居る老人も見かけられ、涙嚢部を圧すると角膜面一杯に膿の出る慢性涙嚢炎も多かった。

青梅に来た翌年昭和32年青梅市立総合病院開設、眼科初代医長小松茂先生の御努力で三多摩眼科医会が持たれた。北多摩の世話人は後に東京都医師会長となられた松永努先生、南多摩は戦時中ベルリンの日本大使館付武官だった故菊池武信先生、それに新米の私と三

人で世話役を交替各地区で学術講演会を開いた。御岳かじか苑に時の東大教授萩原朗先生をお招きして講演して戴いたこともあった。三多摩全体と云っても集まるのは30人前後で皆親しみを以て付き合い、当時三多摩だけで発足した国民保険について北多摩医師会長中島与十先生（眼科）に方針を伺い意見を申し上げたりした。

私事にわたって恐縮であるが医師会との関聯に就いても触れさせて戴く。

青梅に勤務した翌春日本医師会雑誌にエチオピア皇帝記念病院全科9名の医師公募があり書類提出をしたら受かって了った。所が渡航の日は決まらず竟に話全部が流れて取り止めとなった。勤務先の後任も決まって居り止むなく焼き鳥やの廂を借りて開業、驚いたことにその翌日当時西多摩医師会長の山田正禮先生（山田正哉先生の御父君）と池田晴彦先生（会計主任理事）のお二人が励ましに来て下さり心から感激した。

人の好い家主さんは穿孔性外傷や眼球破裂

☆☆

「西多摩医師会労働保険事務組合」都知表賞を受ける

西多摩医師会労働保険事務組合（組合長西村邦康 昭和43年4月設立、昭和44年7月労働大臣より認可、現在加入医療機関42ヶ所）が都知事表賞を受けました。表賞式は去る12月5日東京青山会館に於て行われ、永年その実務にあたった西多摩医師会古屋事務長及び坂元社会保険労務士が出席し東京都知事より感謝状を授与されました。

公益法人の医師会がその事業の一環として公共機関より表彰されたことは、大変意義深いものがあります。関係者の御努力に敬意を表するものです。

尚現在は、従業員1人でも雇用している事業所は労働保険の強制適用となっており、未届けの事業所は届出が必要とされています。詳しいことは、西多摩医師会にご相談下さい。

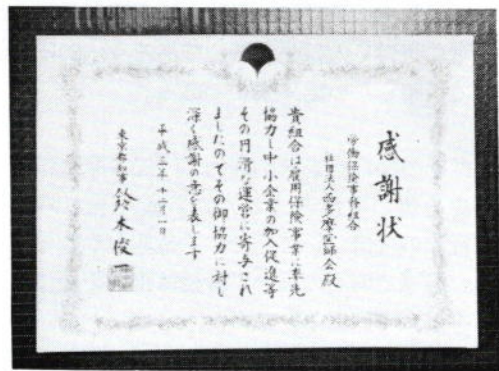
（広報部）

の重傷患者が来ると可哀そうだ自分達の寝室を空けて呉れ次第に緑内障白内障の入院手術も続けられる様になった。視神経疾患に対し腰椎穿刺を行ない髄液のマッサージ所謂パンピングなどが行なわれた頃である。一年後には隣接するお座敷の畳も上げて板張りにする同意も得られ診療室は3倍位になった。クーラーは銀行とパチンコ屋にしかなく扇風機を4台取り付けた。古き良き時代であった。

免許取り立ての覚束ない運転で山峡の分校の身体検査に行き、大きな材木トラックとの褶れ違い片方断崖の狭い道をバックする時の怖さ、早春の雪の降った日完成前の小河内ダムの建設現場まで往診した無謀さなぞよく怪我しなかったことと思う。

やきとりやの廂を抜け出て自前の診療所を持つのに7年かかり、東京オリンピックの翌年昭和40年やっと引越すことが出来た。この間東京眼科医会理事、西多摩医師会理事の雑用も加わり親しい友人にも恵まれた。

(3.11.14 記)



お 知 ら せ

2月（1月診療分）の
保険請求書類提出日
 2月8日（土）
 — 正午迄です。 —

法 律 相 談

西多摩医師会顧問弁護士 鈴木禧八先生による法律相談を
 毎月第2水曜日午後2時より実施しておりますのでお気軽に
 ご相談下さい。

- ◎ 相談日 1月は8日（水）
2月は12日（水）の予定です。
 - ◎ 場 所 西多摩医師会館和室
 - ◎ 内 容 医療、土地、金銭貸借、親族、相続問題等民事、
刑事に関するどのようなものでも結構です。
 - ◎ 相談料 無料（但し相談を超える場合は別途）
 - ◎ 申込方法 事前に医師会事務局迄お申込み願います。
- （注）先生の都合で相談日を変更することもあります。



訃 報

堀 田 フ ミ 様 94才

青梅市小曾木4-2787-3

小曾木診療所

堀 田 洋 夫 先生（御母堂）

去る12月8日逝去されました。
 謹んでお悔やみ申し上げます。

早朝5時、地球のヘソ、「エアーズロック」に登るべく迎いのバスを待っていると荘厳な朝焼けと共に太陽が地平線のぞいた、まさに天地創造の光景、しかも無始無終の「時」はそれ以前よりあったのだから、すごい。シャッターを押した後バスが目の前にくるまで、この悠久の時との出逢いにしばしば一ゼンとしている

近藤記

お詫びと訂正

第228号(平成3年12月号)は次の如く訂正させていただきます。

12頁左側:

下より7行目「道学」は「進学」
右側:収入之部 第1項会費は
予算案 62.000 決算 62.000

13頁左側:旅費「5.50」は「5.00」

14頁左側:収入の部 第3款次行に
第1項 繰越金
予算案 35.00 決算 35.000

右側:薬価報酬に関する規定中
1. 施痘料 1回金30銭の下
「日当50各」は「日当50名」

ここに謹んでお詫びし訂正させていただきます。

今年の冬は暖冬だろうとの長期予報で心配される今頃です。

学生時代と違って一週間もスキー場で合宿、ドカ雪が降って帰りが2~3日遅れても授業を3日もさばればよいなどと気持のゆとりがない現在では、フリーターという職業の連中には一言、言いたい気持もします。

と言いながら自分がフリーターになっていたとしたら、40才をすぎたフリーターを想像して見ると、ホテルのボーイ、土木作業員、スキー場のリフト係、もう少し年をとってビルの管理人とイメージがだんだん暗くなってきます。女性を夢中にさせる熟年男性のハリウッドの女性映画では、“風とともに去りぬ”のレッドバトラーが北軍とでも取引をする実業家、“マイフェアレディ”がどういうわけか上流階級の大学教授、最近の“プリティウーマン”が知的な会社乗取り屋と、女主人公の貧しく下品でしかしかわいい女性に上流階級の作法をおしえ、ぜいたくをさせ、熟年であっても離婚歴有り無しにかかわらず、その時点では独身、しかも知的であるというアメリカ版シンデレラ物語はこの手のダンディが多いようです。医者はおもてないようですね。会報編集委員も満八年目、あと3ヶ月で解放です。若い新入会員も増え会報の新しい芽ばえを期待したいと思います。

渡辺記

平成4年1月1日発行

発行所 (社)西多摩医師会

東京都青梅市西分3-103
TEL (0428)23-2171(代)

会報編集委員 真鍋 勉

石井好明 小机敏昭 小林杏一
田代 洋 玉木一弘 堀田洋夫
道又正達 百瀬眞一郎 渡辺良友

自然のめぐみを最先端の技術で活かす——ツムラ漢方製剤エキス顆粒(医療用)128品目+3品目



ツムラは、ツムラ漢方製剤エキス顆粒(医療用)128品目+3品目により、高齢化社会の深まりつつある現実の治療に貢献しつつ、漢方製剤の科学的な実証を通じて、21世紀に至る長寿社会の治療手段としての役割をはたしていきたいと願っております。

 株式会社ツムラ
東京都千代田区二番町12-7 千102

最新のテクノロジーが計測します
そして、人の眼と心が記録します



臨床検査のパイオニア
保健科学研究所

本社 千240 横浜市保土ヶ谷区神戸町106 TEL/045-333-1661(大代表)
仙台支社 千983 仙台市宮城野区扇町1-3-5 TEL/022-236-9345(大代表)